

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年 4月 1日

事業所名 あひろば高木

保護者等数（児童数）19名 回収数 17名 割合 89%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17				利用者様、保護者様からスペースが確保されていると認識されており、大変有り難いです。物の配置等考慮し、これからも十分なスペースの確保をしていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1			事業所での様子や支援への取り組み等への申し送り、支援の提案等もっと積極的に行っていきたいと思います。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17				利用者様、保護者様からの『バリアフリー化された事業所』という認識を持って頂き大変有り難いです。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	17				これからも保護者の方が納得できる内容になるように話し合いの上作成していきます。
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	16	1			今後も様々な活動プログラムやイベントを実施し活動を通して児童の社会性、自己肯定感を高めて参ります。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	10	2	機会があるかわからない。おそらく無いと思う。はやり病（コロナ、インフル）がある為、無くて仕方がない。	コロナ禍の中で厳しい所もありますが、要望や機会があれば感染対策を充分に行いながら交流を検討していきます。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17				今後とも様々な相談・専門的知識を持ったアドバイスなどさせて頂きます。分からないこと等があればお気軽にお問い合わせください。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2		職員の方からは伝えて頂いていますが、こちらからは細かくは伝えられていないので、もう少し伝えていこうと思います。	引き続き児童の事業所での様子、支援内容について、連絡帳や送迎時に口頭でお伝えさせて頂きます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1		困っている時に助言があった。	個別支援計画での面談を通して、児童の状況や課題について情報の共有をさせて頂いています。お電話や送迎時などでも育児などで困っている事、悩んでいることがあれば専門的な知識を持ってアドバイスできるよう引き続き行っています。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	10	5	分かりません。 はやり病（コロナ、インフル）があり無くては仕方ない。 お迎え時に他のお子さんの保護者の方とお会いしますが挨拶程度で話するチャンスが無いです。 保護者同士の連携はわからない。	今後あひろばでのイベントを通し、交流できる場を考えていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2			貴重な意見として受け取ります。また、職員全員が共通認識をもって対応にあたって、信頼して頂けるよう迅速な対応を心掛けていきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				今後も電話や口頭等で支援内容や出来事の共有をより詳しく行っていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	2			ホームページのブログ等見やすい、見て面白いと思って頂けるよう、掲載の仕方も工夫して参ります。玄関にイベント情報や連絡事項を貼り出し、周知に努めて参ります。
	14	個人情報に十分注意しているか	17				これまでと同様、注意して取り扱っていきます。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	6		マニュアルについて、玄関等の掲示板にあったか分からない。	玄関の掲示板へ張り出し、分かりやすく周知・説明に努めさせていただきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2			防災訓練を年に2回は行っていますが、報告書や写真を通して、情報発信に取り組んでいくよう努めます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17			本人から聞いている。 土曜のおでかけは気が進まないが、友達も出来て楽しんでいる。職員の名前を覚えていて、行きたいという事を言葉にしている。	ありがとうございます。 今後も児童に楽しんで頂ける、通うことが楽しみに思ってもらえる事業所作りを行っていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	17				安心してご利用頂けるよう努力していきますので、ご協力の程宜しくお願い致します。貴重なご意見を参考にし、今後とも児童・保護者様がご利用しやすい、信頼できる事業所を目指して参ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。